

シグマ委員会核データ専門部会
核データ評価W.G.重核データS.W.G.会合議事録(案)

日 時： 昭和63年8月5日(金) 13:30~17:45
場 所： 日本原子力研究所 本部 第3会議室
出席者： 吉田、肥田、川合、村田(以上NAIG)、松延(住友原工)、
神田(九大)、瑞慶覧(日立)、中川(原研)

配布資料

- HN-88-01 前回会合議事録(63年3月23日)
- HN-88-02 同時評価値の誤差(中川)
- HN-88-03 ノードの取り方による同時評価値の差(中川)
- HN-88-04 JENDL-3TをJENDL-3とするために(神田)
- HN-88-05 JENDL-3用Pu-239核データの評価(学会予稿、川合)
- HN-88-06 de Saussureからの手紙(吉田)
- HN-88-07 U-238捕獲断面積の比較(中川)

議 事

1. 前回議事録確認

前回議事録(HN-88-01)を一部修正して、承認した。

2. 一般報告

- 1) 核データ研究会の予定について瑞慶覧氏が報告した。
- 2) 水戸での国際会議のプロシーディングスについて中川氏が報告した。
- 3) 炉物理夏期セミナーについて神田氏が報告した。

3. JENDL-3Tのデータ修正作業

- 1) (吉田氏) ^{236}U は CASTHY と ECIS を使って再計算中である。
 ^{239}Pu の分離共鳴パラメータについては、de Saussure との情報交換 (配布資料 HN-88-06) の結果、彼等の最終値を入手し採用した。
- 2) (松延氏) $^{235}\text{U}(n,2n)$ 断面積を検討中。
- 3) (神田氏) ^{238}U の 10MeV 以上の全断面積を検討する。
- 4) (中川氏) ^{235}U 非分離共鳴領域のデータの検討が終わっていない。
- 5) ^{238}Pu の評価値がファイル化されていない。

以上の外は、JENDL-3T の修正作業が終了している。未終了の部分も9月始めまでには終了させることとした。

4. ベンチマークテストの結果への対応

中川氏が、「JENDL-3T のベンチマークテスト結果から見て主要反応のデータを若干修正する必要がある。そのために、炉定数グループにデータの Adjustment をしてもらい、データ修正の方向づけをしてもらうのが良いのではないかと提案した。また神田氏が、「微分データに基づいた JENDL-3T の評価値は十分に尊重すべきであるが、JENDL-3 とするためには JENDL-3T の修正はやむを得ない」(配布資料 HN-88-04) との意見を述べた。

議論の結果、JENDL-3T の評価値は微分データに基づいたものであり、公式に残してもらうこととし、JENDL-3 とするために、積分データに一致する方向へ主要反応のデータを動かしてみることにした。そのために、データの Adjustment を炉定数グループに行ってもらい、その結果を評価担当者が検討し、最終評価値を決めることとした。動かすデータは次の通りである。

^{235}U fission, ν
 ^{238}U fission, capture, inelastic scattering
 ^{239}Pu fission, capture, ν

同時評価値の誤差は中川氏が、その他の誤差は各担当者が9月始めまでに決めることとした。ただし、共鳴領域については誤差を出すのはむづかしい。

^{238}U の捕獲断面積について ENDF/B-VI (Poenitz) の評価値を神田氏が紹介した (配布資料 HN-88-07) 。JENDL-3T の評価値については、測定

データの規格化を含めて、神田氏が再検討をして見ることになった。

x については、大沢氏に再検討してもらうことにした。

また今後、微分データと積分データが一致しない原因を評価側でも追求していく必要があるとの意見がだされた。

5. その他

- 1) 神田氏が、「Peelle (ORNL) が同時評価の共分散データを比較のために欲しいと言って来た」ことを報告した。SWGとしてはデータを提供しても良いとした。
- 2) 同時評価のレポートについては、執筆案を神田氏が作成、担当者に配布することにした。
- 3) 核分裂断面積計算用コードの件は、肥田氏が大沢氏と相談することとした。
- 4) 次回11月18日か25日とし、原研FCAの方に積分実験の話をしてもらう。また、炉定数グループから出される Adjustment の結果を検討する。